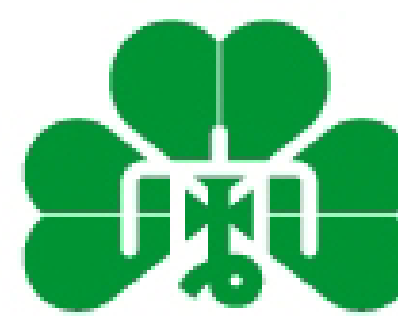


地方都市における住民のスポーツ参画率は地域の観光開発に関係するのか？



棟田雅也（鹿屋体育大学）・弓田恵里香（仙台大学）



研究背景

- 地域主導型の観光開発は地域経済を再生する上で有効な手段の一つ （宮城ら, 2021; 森田, 2009）
- その実現には地域の多様な資源の開発と活用、そして地域住民の理解や協力、主体性が不可欠 （高橋, 2010）
- スポーツ参画率が高い者は、日常生活の充実感を感じ、幸福度も高い （スポーツ庁, 2024）

地域住民が地元に関心や愛着を持ち、地域活性化や観光開発に意欲的になるきっかけがスポーツ参画にある？

先行研究

■スポーツ参画 → 地域

- ✓総合型地域スポーツクラブへの満足度が地域愛着に影響を与える （井澤・松永, 2024）
- ✓所属活動チームへの愛着が地域愛着を高め、地域活動への参加を推進 （林, 2015）
- ✓スポーツ観戦に対する関与が高いファンほど、地域への愛着が強い （二宮, 2010）
- ✓ボランティアのチームイメージの良さや居住年数の長さが地域愛着を強める （松本・渡辺, 2015）

地域住民の多様なスポーツ参画が、住民の地域に対する意識に影響することが示唆される

■地域 ↔ 観光開発

- ✓地域への愛着が観光開発への態度や観光経済的利益に影響を与える （Vargas-Sánchez et al., 2015）
- ✓観光開発への地域住民の参加・協力意図は地域愛着によって影響を受ける （Nicholas et al., 2009）
- ✓観光開発は、賃金の増加、生活水準の向上、雇用機会などで恩恵を受ける （Rasoolimanesh et al., 2017）
- ✓観光開発は、社会文化的認識にポジティブおよびネガティブな影響がある （Jaafar et al., 2017）

観光開発は地域住民が利用できるレジャーや娯楽施設の量や質の向上で支えられているにもかかわらず （Gannon et al., 2020）、住民のスポーツ参画と地域の観光開発意識に関する研究は見られない

研究目的

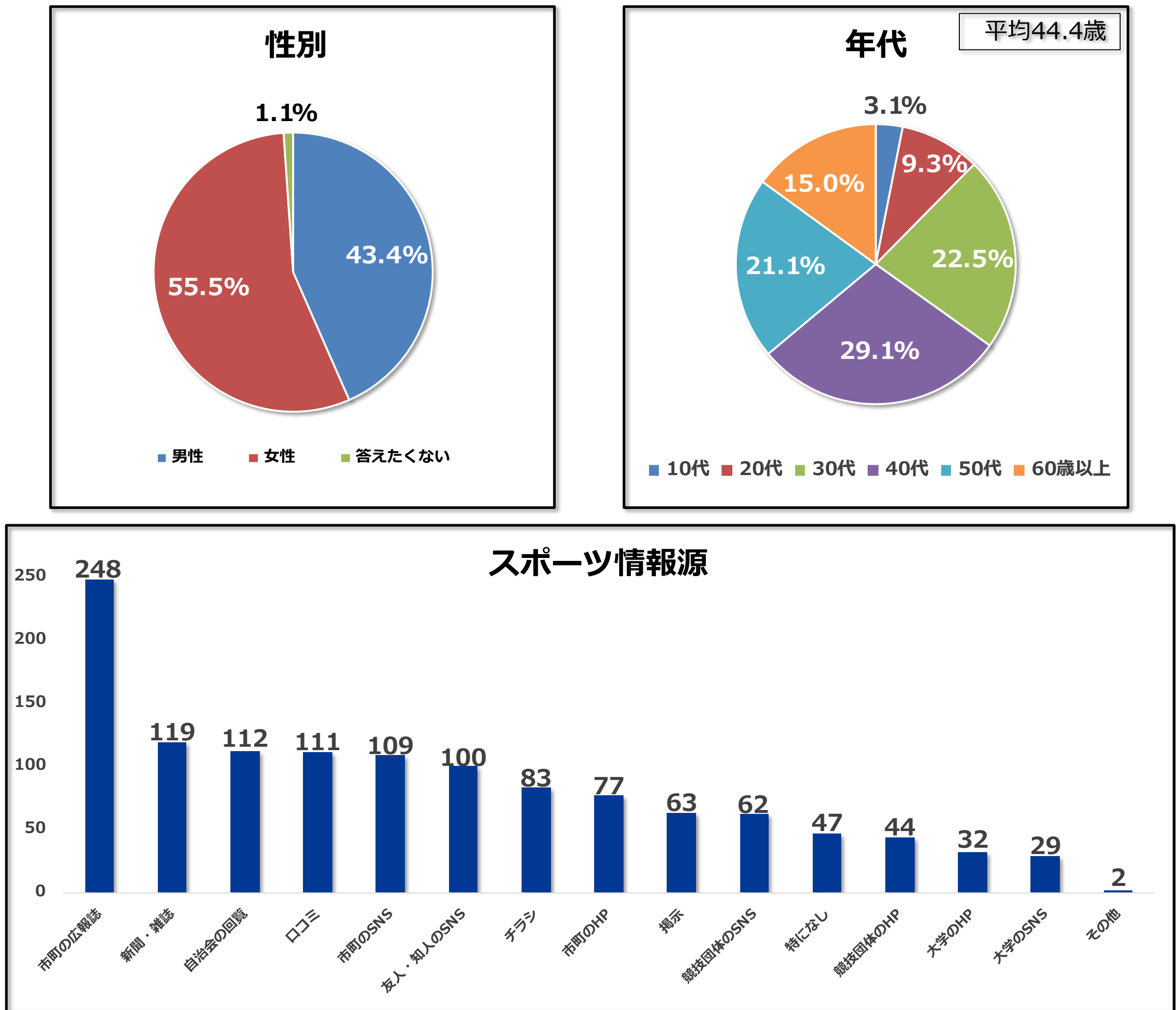
地方都市における住民のする・みる・ささえるスポーツの参画が、地域愛着および観光開発に及ぼす影響を明らかにすること

研究方法

- 調査対象：鹿児島県鹿屋市の15歳以上の住民（n = 454）
- 調査方法：世帯に毎月2回配布される広報誌に、回答フォームにリンクするQRコードが記載された質問紙を同封し、40,669部を配布
- 調査項目：2024年2 - 3月の期間で3週間
- 調査項目：スポーツ情報源、地域愛着 （Nicholas et al., 2009）、観光経済的利益 （Rasoolimanesh et al., 2017）、観光経済的認識 （Rasoolimanesh et al., 2019）、観光社会文化的認識 （Rasoolimanesh et al., 2019）
- 分析方法：過去1年間のそれぞれのスポーツ参画率（実施・直接観戦・間接観戦・ボランティア）を、「無群」、「低群」、「高群」の3群に分類し、上記4つの基準変数ごとに一元配置分散分析による多重比較を実施



結果（基本的属性・行動特性）



結果（尺度・分析）

■測定尺度の信頼性・妥当性の検証

●確認的因子分析における因子負荷量の結果

因子	質問項目	λ
1. 地域愛着	鹿屋市に好感を持っている	.88
	この場所に帰属意識を持っている	.94
	この場所に感情的な愛着があり、私にとって意味がある場所だと思う	.95
	この場所をより良い場所にするために、自分の才能や時間を費やしたいと思う	.81
2. 観光経済利益	鹿屋市の観光客が増えれば、現在の世帯収入が増える	.49
	現在の収入のうち、観光客が消費するお金による影響の割合が高い	.70
	私の勤める会社（またはあなたが経営する会社）の収入のほとんどは観光客によるものである	.85
3. 観光経済認識	観光業の発展により、私の地域にはより多くの雇用を創出する	.86
	観光業の発展により、私の地域にはより多くの投資が集まる	.87
	観光業のおかげで生活水準が大幅に向上した	.70
	観光業の発展によって、道路やショッピングモールなどのインフラや公共施設が増える	.80
4. 観光社会文化認識	観光業の発展は地域住民の文化的アイデンティティを保持することに繋がる	.94
	観光業の発展は文化的な交流を促進する	.94
	観光業の発展はレジャー・レクリエーション施設やそれを楽しむ機会を増やすきっかけとなる	.92

† $\chi^2/df=4.380$, CFI = .961, NNFI = .945, GFI = .921, RMSEA = .086

●確認的因子分析における因子間相関係数の平方、AVE、CRの結果

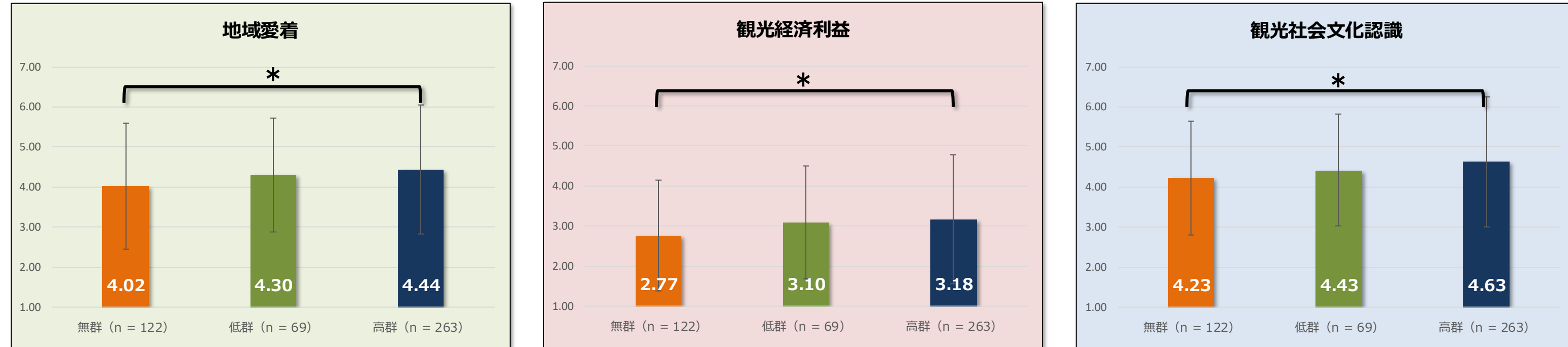
●各因子における平均値・標準偏差

	Mean	SD	CR	1	2	3	4
1. 地域愛着	4.31	1.58	.94	.80a			
2. 観光経済利益	3.06	1.53	.94	.18	.80b		
3. 観光経済認識	3.86	1.53	.88	.30	.36	.65c	
4. 観光社会文化認識	4.50	1.55	.95	.35	.19	.47	.86d

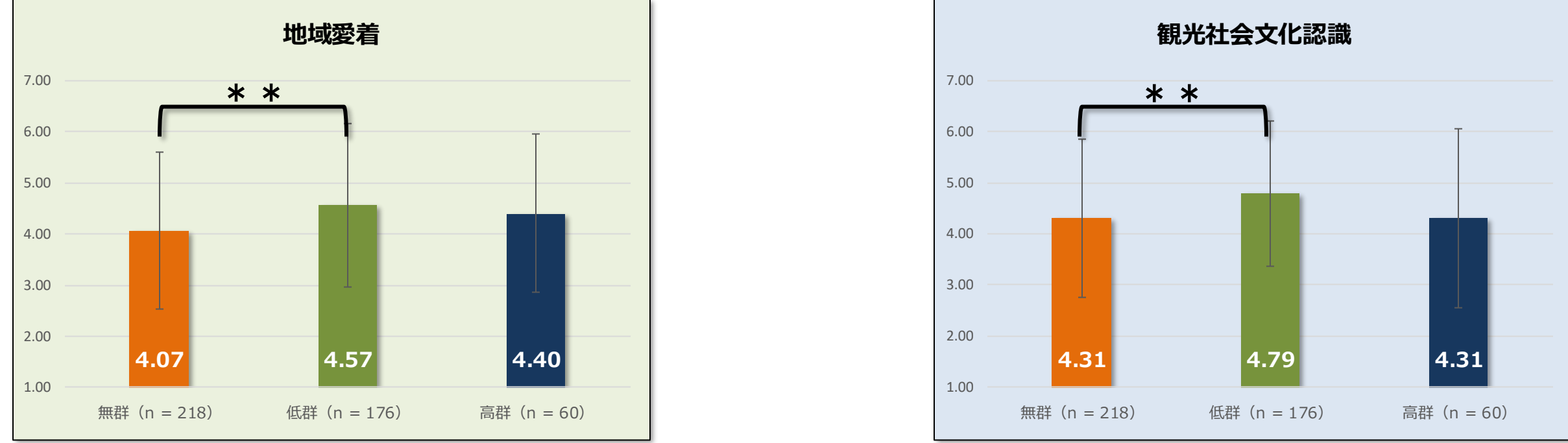
† 対角線上a-dの数値は各項目のAVEを示す

■スポーツ参画率による各変数の平均値の比較（一元配置分散分析：有意差有のみ）

●するスポーツ参画率による比較結果



●直接みるスポーツ参画率による比較結果



●間接みるスポーツ参画率による比較結果



考察・まとめ

- 地方都市における住民のスポーツ参画率は、地域の観光開発に関係する→スポーツボランティアの参画率はいずれも有意差は認められなかったが、地方都市における住民主導型の観光振興の実現に向けて、地域スポーツの推進は有効な手段であることが示唆された。
- どのような観光開発をするかによって、どのスポーツの参画率を高めていくべきなのか、地域の資源や特性に応じて検討していく必要がある。
- 本研究の課題と今後の展望
- サンプルの偏りやセグメンテーションの方法が結果を左右している可能性
- 分析方法の再検討（多母集団同時分析、調整変数の設定など）